

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	05 05 04	中期総合計画主要施策番号	1-04,2-02	担当課	部・課	環境部自然保護課	
事業名	自然公園施設等整備事業				内線	2773	
					E-mail	shizenhogo@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	S33 ~	根拠法令等	自然公園法、地域自主戦略交付金交付要綱				
実施方法	県が直接実施(修繕工事等を発注)・委託					国庫・県単	国庫補助事業・県単独事業

事業の概要等	目的(必要性)	自然公園内の県が管理する歩道等の整備・補修等を継続的に実施し、自然環境が保全され、快適で安全な利用がなされるようにする。				
	対象	自然公園内の県が管理する設備(歩道等を含む)				
	目指すべき姿	自然公園内の県が管理する歩道等の整備・補修を行う事により、利用者が快適で、施設管理不備による事故などの発生のない、安全な利用確保を目指す。また、希少植物等の自然環境の保全と利用者に対する自然保護思想の普及啓発を目指す。				
	事業内容	自然公園内の県が管理する施設で行う以下の事業 ・自然歩道の補修、整備 ・標識、案内板の整備・調査点検 ・休憩施設の整備 など				

事業コスト	区分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 工事請負費 : 2,562千円(2箇所) 委託費 : 334千円(鈴蘭車道調査) 需用費(補修) : 3,827千円(9箇所)
	最終予算額 (A)		千円	16,448	9,282	10,949	
	決算額 (B)		千円	15,293	8,150		
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	5,938	6,867	10,342	
	概算人件費	従事する職員数	人	0.50	0.50	0.50	
	概算人件費 (C)		千円	4,159	4,129	4,129	
概算事業費 (B(H24はA) + C)		千円	19,452	12,279	15,078		

事業実績	成果指標・活動指標内容		単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 (効果指数 算出式) 概算事業費/整備補修箇所数
	整備・補修箇所数		箇所	8	6	6	
	<効率指標(単位当りコスト等)> 整備補修箇所数			2,432	1,973	2,513	

事業の成果	事業の目標(H23)			事業成果・評価			評価区分
	計画した自然公園内の県有施設の整備・補修を行い、施設利用者の事故発生や苦情をなくす。			緊急度の高い施設の整備・補修を計画的に実施した結果、施設管理にかかる事故や苦情はほとんど無かった。			b 期待どおり

事業の課題	区分		判定・説明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	・県有施設の老朽化・災害による荒廃が進行しており、整備・補修等すべき施設が増加している。 ・県管理の必要性が低い施設については、必要な機関に管理移管を進める必要がある。又、国立公園内の老朽化が進んだ施設については、国による再整備等引き続き要望していく。 ・工種工法を精査し、効率的な設計・施工に努めている。	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			

総合分析等	総合分析(今後の課題、取組方針等)	ニーズの増加に対し必ずしも十分な整備が出来ていないとはいえない。特に国立公園内については、国の三位一体改革により原則として国(環境省)が整備等することとなったが、現実には特別保護地区の一部のみであり、国に再整備を引き続き要望していく。				
	特記事項					